

こうち+クロス

高知赤十字病院
広報誌

ご自由に
お持ち帰りください



特集:皮膚腫瘍治療のご案内



高知赤十字病院の理念

愛され、親しまれ、信頼される病院づくりを目指します。

高知赤十字病院基本方針

- 人道・公平・中立・奉仕の赤十字基本原則を遵守します。
- チーム医療を推進し、患者様中心の安全で良質な医療を提供します。
- 高度医療の推進と救急医療の充実を図ります。
- 地域医療機関との連携を推進し、地域医療レベルの向上に努めます。
- 教育・研修の推進と次代を担う医療従事者を育成します。
- 災害時における医療救護活動への積極的な参加と支援を行います。

受診される皆様へ

私たちは、受診される皆様の権利を尊重します

- 平等かつ適切な医療を受ける権利
- 個人の人権が尊重される権利
- プライバシーが保障される権利
- セカンドオピニオンを受ける権利
- 医療上の情報及び説明を受ける権利
- 医療行為を選択する権利

私たちからのお願い

- ご自身の健康に関する詳細な情報を医師をはじめとする医療提供者にお知らせください。
- 治療や検査等は、理解し、納得したうえでお受けください。分からぬこと等は、ご遠慮なく医師をはじめとする医療提供者にお問い合わせください。
- 病院内では他人の迷惑にならないようにお願いいたします。
- 暴言・暴力行為があった場合、診療をお断りすることがあります。
- 医療費の支払い請求には、速やかな対応をお願いいたします。
- その他、より快適な入院生活をお過ごしいただくために、病院内の約束事についてはご協力ををお願いいたします。

皮膚腫瘍治療のご案内



皮膚腫瘍とは？

皮膚にはいろいろな「できもの」が発生します。盛り上がりがあるものやしこりとして触れるものは何でも「皮膚腫瘍」あるいは「皮下腫瘍」と呼びます。盛り上がりやしこりのないあざやしみは「母斑」などと呼ばれます、母斑についてもわれわれの治療対象となります。

一言で皮膚腫瘍や皮下腫瘍と言ってもいろいろな種類があり、その中には良性腫瘍も悪性腫瘍(がん)も含まれます。形成外科では良性、悪性を問わず、皮膚・皮下腫瘍全般を取り扱っています。

表1 形成外科の実績

	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
良性腫瘍	110	119	167	207	281
悪性腫瘍	25	23	36	63	52
計	135	142	203	270	333



切除のデザイン



切除後



初診時



術後6か月

図1 母斑細胞性母斑

良性腫瘍の治療

形成外科では母斑細胞性母斑(いわゆるほくろ)、表皮囊腫(粉瘤)、脂肪腫などの良性腫瘍の切除術をたくさん行っています。その多くは局所麻酔下で行う日帰り手術です。切除したものは病理検査を行い、腫瘍の診断を必ず患者様へお伝えしています。



切除前



摘出した腫瘍



切除前(左腰部)



摘出した腫瘍

図2 脂肪腫

図3 表皮囊腫

皮膚がんについて

皮膚がんには以下に挙げる代表的なものがあり、当科では積極的にその治療に取り組んでいます。

基底細胞がん

最も多い皮膚がんです。顔面に多く発生し、紫外線の影響があると考えられています。一見普通のほくろに見えますが、黒色～黒褐色の光沢をもつ色調を呈し、通常転移はしませんが、急激に周囲の組織を破壊しながら進行することがあります。



図4 基底細胞癌

有棘細胞がん



図5 有棘細胞癌

基底細胞がんの次に多い皮膚がんであり、高齢化に伴い増加傾向です。約6割が日光に当たる部位に生じることより、紫外線の関与が考えられます。紅色の腫瘍で角質増殖や潰瘍を伴うこともあります。比較的緩徐に進行しますが、リンパ節転移や臓器への転移を起こすこともあります。



図6 悪性黒色腫

悪性黒色腫

皮膚のメラニン色素を作るメラノサイトががん化した悪性度の高い皮膚がんです。黒色調の腫瘍や色素斑で、形の非対称がある、辺縁の不正がある、色の濃淡が強い、直径6mm以上、隆起しているなどが診断の手助けになります。他の皮膚がんに比べて進行が早く、短期間で転移を来すことの多い、生命予後の悪いがんです。近年では薬物療法が次々と開発され、生存期間が延長しつつあります。

皮膚がんの治療

皮膚がんの治療の基本は拡大切除です。がんの辺縁から一定の距離を離して切除します。切除後の組織欠損が大きすぎたりなどして縫い閉じられない場合、「皮弁」を用いてきずを閉じます。



a 切除および皮弁のデザイン

腫瘍の辺縁から2cm離し、踵骨の出る深さまで切除する。

つちふまずから内側足底皮弁を血流の保たれた状態で移植する。

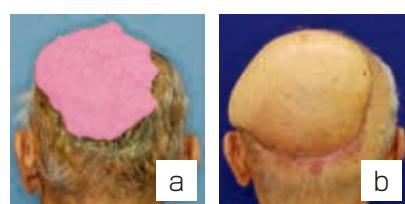
b 手術終了時

皮弁採取後のつちふまずには大腿部から0.3mm厚の皮膚片を移植した。

c 術後1年

歩行が可能となっている。

図7 左踵部悪性黒色腫



a 初診時(写真を加工しています。)

後頭部に巨大な腫瘍を認める。

頭蓋骨上まで浸潤がある。

b 術後6か月

頭蓋骨の出る深さで腫瘍を拡大切除し、背部から遊離広背筋皮弁を移植した。再発を認めない。

図8 後頭部基底細胞癌

形成外科と皮膚科の連携

形成外科と皮膚科でチームを編成し、手術だけでなく薬物療法、放射線療法、きずあとのケアなど、協力して包括的な皮膚腫瘍診療に取り組んでいます。

上記のような大掛かりな治療は形成外科でお願いしていますが、診断につながる皮膚生検(局所麻酔下に小さく切り取り病理検査に提出)や一部疾患への外用治療は皮膚科でも施行しておりますのでご相談ください。



皮膚科
藤岡Dr.

ただの「いぼ」や「ほくろ」と思っていたものが、悪性腫瘍である場合もあります。少しでも気になるものがあれば、お気軽に御相談ください。

地域の先生方におかれましては、一見良性に見えるものの中に悪性腫瘍が潜んでいることもあります。どんなに小さい物でも構いませんので、当院へお気軽に御相談ください。

ホームページ
はこちら



健康管理センター放射線技師 清水雅明さん 叙勲受章のお知らせ

この度、健康管理センター放射線技師の清水雅明さんが永年にわたる功績が認められ、令和7年春の叙勲において「瑞宝双光章」を受章の栄に浴されました。清水さんはこれまで高知県放射線技師会常務理事、監事を歴任され、また高知県水泳連盟副会長として、熱意をもって業務、事業に取り組んでまいりました。特に、当健康管理センターにおいては、平成27年7月より胃透視業務の一角を担い、当センターには無くてはならない存在となっております。このたびの叙勲受章は、本人のみならず、当センターにとっても大変な名誉でございます。

今後もお体にお気をつけて、ご活躍されることをお願い申し上げます。

この度、瑞宝双光章を戴きました。（公社）高知県放射線技師会の活動歴42年と（一社）高知県水泳連盟の活動歴38年の評価をして頂きました。現在も（公社）高知県放射線技師会の監事と（一社）高知県水泳連盟の副会長を歴任しています。また、高知SCクラブにて水泳コーチとして子供の水泳指導を行っています。



令和6年度栄養関係功労者（栄養指導業務功労者） 厚生労働大臣表彰を頂きました

この度、厚生労働大臣表彰を頂くことができました。この賞は、長年、業務において栄養食事指導が必要な方に栄養食事指導をおこなってきたことや、地域での栄養教育（出前講座、食育講座など）を実践したり、県民への食改善事業（社団法人高知県栄養士会において）に参加したりと職場や周りの皆さんに支えてもらい、いただけた賞です。今回、お祝いの席を社団法人高知県栄養士会が設けてくださいり、日頃から業務でお世話になっている方々に病院代表としてご来賓いただきました。また、高知県や高知市の関係の皆さま、高知県医師会会长様をはじめとする医療界の皆様にもご祝辞を頂くなど素敵なお時間となりました。

この場をお借りし、皆様に感謝とご報告を申し上げます。今後も院内では栄養食事指導や地域などへの出前講座などで貢献したいと思いますので、引き続き、よろしくお願いします。



第30回日本災害医学会総会・ 学術集会記念大会に参加して

検査部 兼 麻酔・集中治療部 山崎 浩史

今年の3月6日から8日にかけて標記学会が名古屋で開催され、発表を含め参加させていただきました。演題は当然ながら能登半島地震を踏まえた内容が多く、「能登半島地震を振り返る」と題した特別企画も7枚設けられました。能登半島地震は「南海トラフ地震時の高知県の被災状況の“モデル”とも言われることもあり、私は、それに関連した道路アクセス啓開、搬送調整、行政との連携・調整、避難所、医療コンテナ、通信システム等のセッションに参加し、南海トラフ地震時に高知県でも起こるであろう新たな問題点や課題を認識できた次第です。今回の学びを踏まえ、引き続き南海トラフ地震を主とした、当院を含む高知県の災害医療対策にお役に立てればと思います。



写真を撮らせてもらっただけで、
お店に入ることができなかつたのが残念です

防災season シーズン

～当院の防災の取り組みや考え方を紹介します～

5階西病棟 東前 優

No.12

私が所属する5階西病棟は周産期の母児を対象とする産科病棟であり、年間約500人の赤ちゃんが誕生しています。

妊産婦や子どもは災害時に要配慮者に該当し、特別な支援が必要とされ、一般的な防災対策に加え、特別な準備が求められます。当院でも産まれたばかりの大切な命を守るためにいくつかの準備を行っています。今回はその中のベビーキャリーについてご紹介します。

このベビーキャリーは、東日本大震災を機に「お母さんと一緒に」をコンセプトに、当院の助産師と長野県の会社が共同開発したおくるみタイプの搬送用具です。

当院は免震構造を取り入れていますが、発災時に安全が確保されるまでの間は、母児同室のお母さんにはベビーキャリーを使用してもらい、赤ちゃんを抱っこしていただきます。

当院では、スタッフへの伝達講習はもちろん、母児同室を開始されたお母さんに向けて資料を用いながら使用方法やベビーコット使用の際の注意点などを説明させていただいています。

自宅から避難する際には、不安定な足場になることも予想されます。いざという時に両手が使えるようにする上でも抱っこひもやスリングを常備しておくと安心ですね。

みなさんも赤ちゃん、家族を守るために今から出来ることを準備しておきましょう。



使用方法のラミネートと共に
コットに常備しています。



避難所などで床に寝かせても背中が
痛くないように工夫されています。

透析技術認定士のご紹介



透析技術認定士とは、透析療法合同専門委員会が認定している資格です。透析に従事する者の技術・知識の向上、透析装置の適正な活用を図って腎不全患者の治療および社会復帰に尽力する目的でつくられました。

1980年の第1回から数え現在では2万人以上の方が認定を受け、透析に従事しています。臨床工学技士だけでなく、看護師や准看護師も取得することができます。

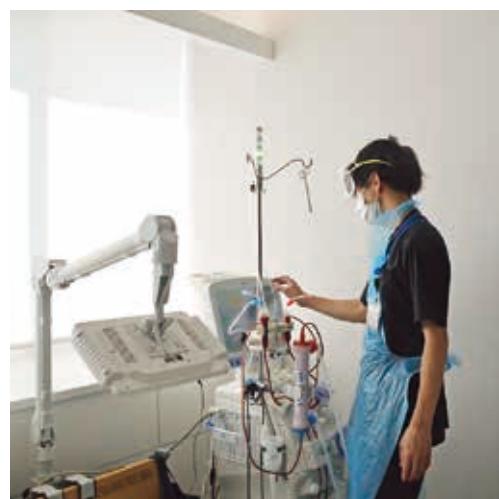
私は、臨床工学技士としての大半を透析業務に従事しています。透析室での臨床工学技士の業務は、血液回路のプライミングからバイタルの確認など直接患者さんに接する業務、バスキュラーアクセス管

理、透析液の水質管理、透析に関連する機器の点検、アフェレーシス業務などがあります。日々、自分の知識・技術は通用するのだろうかと感じていたので試験にチャレンジする事に決めました。

試験内容は、透析・アフェレーシス・腎移植など、血液浄化関連の分野が幅広く出題されます。普段自分が行っている業務で通用する問題もあれば、勉強して初めて分かる事も多々あり、有意義な試験となりました。資格を取得して満足するのではなく、5年の更新制度もあるので、日々研鑽を続けて、透析室スタッフと連携を取りながらより良い治療の提供に貢献できたらと思っております。



患者さんに穿刺をしています



患者監視装置のチェック中です



透析液(粉末)を補充しています



透析供給装置をチェックしています

感染管理認定看護師教育課程(B課程)を修了しました



感染管理認定看護師
川村 亜希

令和6年度に当院の認定看護師資格取得支援制度を利用し、1年間研修施設に通い、感染管理認定看護師教育課程(B課程)を修了しました。勤務の調整には、所属病棟のスタッフ、病棟看護師長、看護部の皆様には快く協力・サポートして頂き、大変感謝しております。また、実習の際には野川感染管理認定看護師はじめ感染管理室、医師を含めたICT/ASTメンバーの皆様よりご指導頂き、専門性の高い知識や技術を学ぶことができました。現在は、その経験を活かし、医療関連感染予防のための院内の研修の実施や、実際に現場で正しく実践できているかを週

1回のICT(感染制御チーム)の環境ラウンドで確認し、必要に応じてスタッフの皆様に改善や協力をお願いしたりしています。感染対策は誰か1人が頑張っても成り立ちません。スタッフの皆様とともに協力して感染対策に取り組めるよう、未熟ながらも活動して参りますので、どうぞよろしくお願ひいたします。



汚物処理室の環境チェックをしています



個人防護具の保管状況について確認しています

患者誤認防止チームの活動報告

医療安全多職種 患者誤認防止チーム

当院では、患者さんが安心して治療を受けられるよう、医療安全チームが日々活動しています。今回は、「患者誤認防止チーム」の取り組みをご紹介します。

目標 患者誤認の防止

医療現場では、患者さんを間違えずに正しい治療を行うことが何より重要です。

そのため、患者誤認を防ぐための確認作業を徹底しています。



患者さんへのお願い

- 診察・検査の際は、ご自身のお名前をお伝えください。
- 検査や処置の内容に不安があるときは、遠慮なくお尋ねください。
- 「いつもと違う?」と思ったら、お気軽にスタッフにお声かけください!
- 患者さんのご協力が、より安全な医療につながります。
- 皆さまのご理解とご協力を願っています!



がん薬物療法認定薬剤師の資格を取得しました

がん薬物療法認定薬剤師とは、がん治療における薬物療法に関して、高度な知識や技術を身につけ、がん治療に対する薬学的管理を有効かつ安全に行うことができる薬剤師が取得できる資格です。一般社団法人日本病院薬剤師会が実施している認定制度であり、令和6年10月時点で1035名の薬剤師が認定されています。

実際に抗がん剤による治療を受けられる患者さんは、薬の副作用など心配なことが多いかと思いますが、薬剤によって注意の必要な副作用はそれぞれ異なりますので、使用する薬剤に応じた注意点や副作用対策などを説明するようにしています。また、患者さんができるだけ安心して治療に取り組むことができるよう、質問したいことなどがあれば気兼ねなく聞けるような接し方を心掛けています。

今後も研鑽を続けていきたいと思いますのでよろしくお願い致します。



入院時食事療養費について

地域連携課MSW



厚生労働省告示の改正に伴い、令和7年4月より、入院時の食事代が引き上げられました。

各世帯の課税状況により、食事療養標準負担額が設けられています。

課税世帯の場合、1食490円→510円の値上がりとなりました。

非課税世帯の場合、230円→240円、180円→190円の値上がりとなっております。

値上がりは、1食10円、20円ほどですが、1日3食で考えると、課税世帯の場合、 $510\text{円} \times 3 = 1530\text{円}$ 、非課税世帯の場合、 $240\text{円} \times 3 = 720\text{円}$ 、 $190\text{円} \times 3 = 570\text{円}$ の負担となります。

それが、入院日数分かかるうことになり、負担額も大きくなります。

病状の不安がある中、経済的な面でも不安を抱えている患者様・ご家族様はいらっしゃると思います。相談しながら、費用の負担額がどれくらいになるのか、使える制度はないのか、一緒に考えさせていただきます。お気づきのことがありましたら、ご相談いただけたらと思います。

入院時食事療養費の負担額の変更について

令和7年4月1日から、入院時の食費基準額の見直しにより、

下記のとおり自己負担(標準負担額)が変更になります。

	令和7年3月31日まで	令和7年4月1日から(変更後)
食事代 1食につき	490円	510円
	230円	240円
	180円	190円
	110円	110円(変更なし)



新人看護師研修

新人看護師さんは、当院に入職して3か月が経ちました。

4月はほぼ毎日研修でした。座学では睡魔に襲われながらも乗り越え、技術研修では実際の医療材料を使用しながらリアルに実体験をしました。

しかし研修を重ねていても、患者さんに対する時はやはり不安で緊張します。新人看護師さんは少しでもその緊張感を和らげ、お互いに安心していられるよう、放課後俱乐部にも参加し自主研修に取り組んでいます。

今はまだシャドウイング(先輩看護師の影のように同行する学習方法)ですが、病棟では先輩と一緒に患者さんを受け持ち、さらに夜勤も始まるなど、看護師の責任の重さを実感していることでしょう。



2025年度高知赤十字病院「ミニ講座」

高知赤十字病院では、専門職による「ミニ講座」を開催し、県民の皆さんに医療や看護、介護などの正しい知識を身につけていただくことで、安心して暮らしていく地域づくりに貢献したいと考えています。講師料は無料です。



職種	専門分野	テーマ
専門看護師	がん看護	がんについて知っておきたいこと
		ちゃんとうけよう！がん検診
	重症集中患者看護	人生会議してみませんか
認定看護師	緩和ケア	緩和ケア うけてみませんか ～緩和ケアのはなし～
	脳卒中リハビリ	脳卒中発症予防と脳卒中の早期発見 ～あなたの大切な人を守るために～
	糖尿病看護	参加型寺子屋 「糖尿病の合併症を体験しましょう」
		働き盛りのあなたへ 食事と睡眠のコツで健康長寿を目指そう！
	摂食・嚥下	口腔ケアについて
	障害	誤えん性肺炎について
	皮膚・排泄ケア	あなたの肌を守るスキンケア
		自宅での介護が楽になる ～床ずれ予防・おむつの当て方～
感染管理	感染症の予防 「正しい手洗いを学びましょう！」	

職種	専門分野	テーマ
認定看護師	感染管理	みんなで防ごう！ インフルエンザの予防の知識
		南海トラフ巨大地震に備える ～避難所での感染予防～
看護師	救命救急センター	ノロウィルスの基本的知識・吐物処理方法
		熱中症、人ごとだと思っていませんか
		南海トラフ巨大地震への備え
コ・メディカル	薬剤師	心筋梗塞 「胸が痛いだけじゃない！」
		水分のとり方
	管理栄養士	薬の正しい使い方
		食べて健康！～食べ物の力～
	臨床心理士	「減塩食」って難しくない！！
		知っておきたい高齢者のメンタルヘルス
		南海トラフ巨大地震に備える ～今からできる「こころの準備」～

CAFE CROSS

研修医一年目の紹介

RESIDENT INFORMATION



いず
伊豆

こうじ
幸樹 (高知大学卒)

医師を志したきっかけは?

子供のころから身体疾患はよく見かけて当たり前に感じていたが社会人経験をしてから職場にうつ病をはじめとした精神疾患で休職している方が多いことに衝撃を受けたことがきっかけです。



これが好き!

お酒全般が好きです。特にブランデーが好きで毎晩飲んでいます。肝臓が強い私の体も気に入っています。



アロマも好きでレモングラスが特に好きです。



私がすごいです♪

筋トレが趣味でベンチプレス100kg挙がります。



研修への意気込みをひとこと★

今後増えるであろう精神疾患に対し、なるべく短期間で場所を選ばない新たな治療法が確立できたらと考えています。

そのためには研修中は基礎となる身体疾患に対する理解を深めていかなければと思っています。



かわごえ
川越

たかひろ
崇弘 (高知大学卒)



医師を志したきっかけは?

高校1年生の時に、外科医師の職業体験学習で丁寧に教えてくださる先生方にお世話になった経験や医師の職業について詳しく教えていただいた経験があり、医師という職業を意識する契機となりました。



これが好き! ねこが好きです。学生時代に合気道を始め、今も続けるほど好きになりました。ドライブも好きです。そのみちすがらサービスエリアを巡ることも好きです。

私がすごいです♪ 医師としてのスタートラインに立てるまで努力を継続することができた自分自身を褒めたいです。

研修への意気込みをひとこと★ ERで働かれている2年次研修医の先生方を目標に、日当直、ERをがんばっていきたいです。また、現在研修させていただいている科では真摯にご自身の病気や症状、薬の副作用に向き合われていらっしゃる悪性腫瘍の患者さんのお話を聞かせていただける機会に恵まれてあります。お話をしていますと、いまだ医師として未熟で拙いながらも、患者さんから医師として必要とされている実感を得ることができました。これから、患者さんのお言葉を反芻し、患者さんが穏やかな時間を過ごすための一助となる医師になりたいです。そのために知識や技術の習得に加えて、患者さんが大事にされている価値観を深く理解できるようにコミュニケーション能力を高めたいと考えております。研修中に皆様にご迷惑を多々おかけすることがあると存じますが、何卒ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひいたします。

小児病棟からのおたより



子どもの「わかる」が「がんばれる」につながる

6 東病棟では小児患者が安心して手術を受けられるように看護師が中心となって手術プレパレーションを行っています。手術前の子どもは、「何をされるの?」「痛いのかな?」という不安でいっぱいです。そこで看護師は、年齢や発達に応じて、優しい言葉やイラストを使いながら、子供用パンフレットで手術の流れや麻酔の体験を丁寧に説明しています。また手術室とも連携し、術前に手術室に見学に行って実際に使うマスクのにおい(イチゴやバニラの香り)を嗅いでもらいながら、麻酔導入の一つひとつの処置について安心できるように寄り添います。子どもたちは「もう怖くないよ」と自信を持って手術室に向かう姿をみせてくれます。これからも、子どもとそのご家族の気持ちに寄り添い、安心と信頼の中で治療に専念できるように取り組んでいきます。



すずらんの花、しおりの贈呈セレモニー

令和7年5月20日、今年も「すずらんの花、しおり」の贈呈セレモニーが開催されました。

第70回目のすずらんの花としおりは、ANAグループの皆さんのご厚意により、全国の赤十字病院に届けられています。

今回は、5階西病棟看護師 津野 結衣さんと6階東病棟看護師 今井 暖さんに協力いただき、入院患者さんにも直接お渡しすることができました。

すずらんの香りには「心を落ち着かせる力」があるようです。手にされた方はその香りに癒されることだと思います。

昨年、ANA高知-大阪線就航が70周年だったそうです。同時期にすずらん贈呈も始まったんですね。

高知-大阪便に搭乗する時は、左側がおすすめのことです。大阪城や大阪万博も上空から見られるようです。

とてもいい香りで、優しい気持ちになれました。患者さんに素敵なお香りを届けることができてうれしいです。



いただいてから数日間、自宅に飾り楽しんでいました。とてもいい香りでほっこりしました。ありがとうございました。



土佐長岡郡医師会生涯教育講演会を開催しました

当院では毎年、がんをテーマに各医師会様と共に生涯教育講演会を開催しています。昨年度は土佐長岡郡医師会と共に本山町プラチナセンターにて開催しました。

溝渕 佳史第一脳神経外科部長より「意外と見過ごされやすい脳腫瘍」、柏木 圭介形成外科部長より「総合病院における形成外科の役割」のお話をさせていただきました。参加された方からは、「手術例がスライドでみれて分かりやすかった」「形成外科の分野がどんなことをしているのかわかりました」となど、好評な意見をいただきました。



溝渕佳史 第一脳神経外科部長



柏木圭介 形成外科部長

+ 高知赤十字病院 医療公開講座

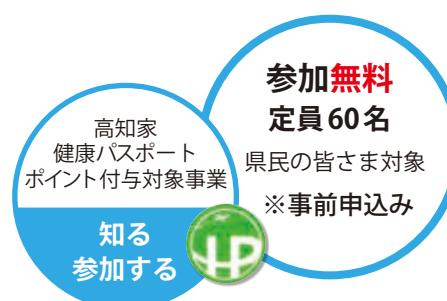
日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

令和7年 8月31日(日)
13:30～15:00 (開場 13:00)

高知県民文化ホール 第6多目的室

お申込み用
QRコード

■ お申込み・お問合せ 高知新聞企業 セミナー係
TEL 088-825-4110 (平日 9:30～17:30)



講演 1
13:40～14:10

せぼねの病気と骨粗鬆症

高知赤十字病院 整形外科部長 合田 有一郎



講演 2
14:20～14:50

すいすい分かる すい臓の話

高知赤十字病院 消化器内科部長 岡崎 三千代



感染防止対策(マスク着用など)にご協力ください
駐車場はありません 公共交通機関、近隣の有料駐車場をご利用ください

高知赤十字病院・高知新聞企業

高知赤十字病院
ホームページ

<https://www.kochi-med.jrc.or.jp/>



高知赤十字病院
Facebook

<https://www.facebook.com/krch.kouhou/>



よろしければ
フォロワー登録
お願いします



皆さまへよりよい情報提供ができる紙面づくりを目指しております。

本誌に対するご意見やご要望などございましたら、高知赤十字病院医療事業・広報課までお寄せください。
(088-822-1201 (代表))

